



神田外語大学 ボランティアセンター報告書

KUIS Volunteer Center

2019 年度



神田外語大学



VOLUNTEER
CENTER

Contents

目次	1
神田外語大学ボランティアセンター	
・ 理念、特徴	2
・ ボランティアセンターの役割	3
・ ボランティアセンター運営委員会構成員	3
・ ボランティアセンター施設案内	3
年次報告第4号のご挨拶	4
スポーツ通訳・国際大会ボランティア	
・ スポーツ通訳・国際大会ボランティアとは	5
・ 主な実績	6
・ スポーツ通訳ボランティアを体験した卒業生からの声	7
・ 全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー	8
・ スポーツ通訳ボランティア推進室による通訳ボランティアの取り組み	12
地域貢献・国際交流ボランティア	
・ 地域貢献・国際交流ボランティアとは	15
・ 主な実績	16
・ 第15回幕チャリ	17
・ 東日本大震災復興支援プロジェクト2011年度～2019年度の記録	19
・ 災害募金活動	25
・ 参加学生の声	26
国際協力・国際開発ボランティア	
・ 国際協力・国際開発ボランティアとは	27
・ CIEE海外ボランティアプログラム	28
・ 参加学生の声	29
ボランティアセンター主催プログラム・イベント	
・ ボランティア入門講座	30
・ 国連「世界難民の日」啓発ウィーク	31
・ JICAボランティアセミナー	32
・ 大覚寺プログラム	33
・ 初期医療言語サービスボランティア研修	34
・ Enjoy Learning About the Olympics & Paralympics!	35
・ DeeDee Trotter氏講演会	36
・ ボランティアトライアル2019	37
・ ボランティア参加証授与式&報告会	38
2019年度ボランティア実績一覧	39
学内ボランティア団体の紹介	42
Volunteer Union	43
ボランティア情報の発信	44
協力・関連団体	45

神田外語大学ボランティアセンター

理念

神田外語大学ボランティアセンター（以下を「ボランティアセンター」という。）のボランティア教育支援とは、ボランティアを提供する側の一方的な奉仕活動（サービス）だけでなく、奉仕活動を通してそれを受ける側から、また活動自体を学ぶ（ラーニング）双方向的要素を含んでいます。ボランティアセンターは、学生に対し、ボランティア体験を通じて、国際社会並びに地域社会が抱えている様々な問題やニーズを発見・共有しながら、自ら考え行動する力を養い、学生の自立を促進し、成長する機会を増やします。ボランティアセンターは、ボランティア活動の中から学生が社会に出て必要な能力

1. 自立・主体的な行動力
2. 社会性、幅広い知識・教養
3. 大学で学んだ知識を現場で活かす実践力

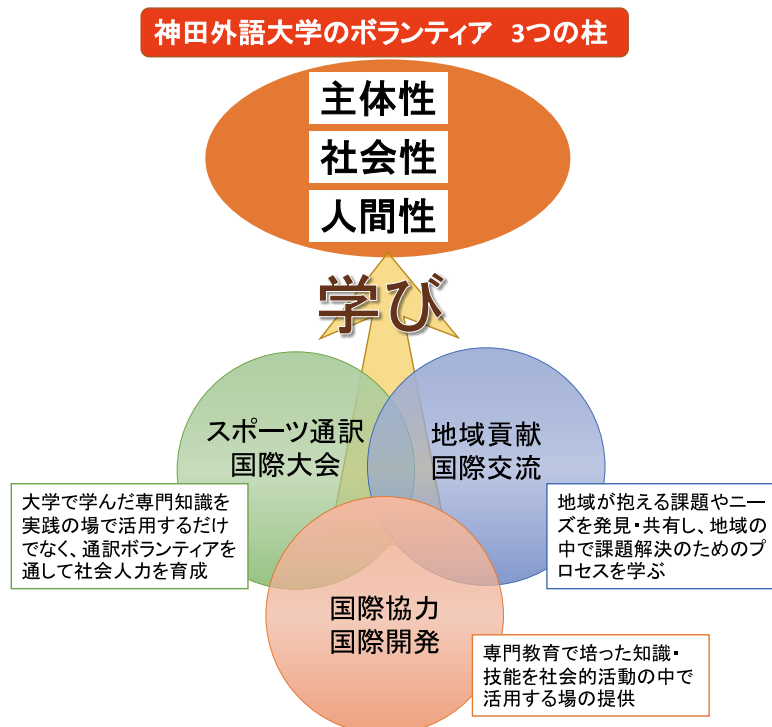
の向上を目指し、様々なボランティア活動に対する育成・支援を行っています。

特徴

神田外語大学のボランティアは3つの柱に分類されます。

1. スポーツ通訳・国際大会
2. 地域貢献・国際交流
3. 国際協力・国際開発

大学で培った専門的な知識や技能を学外で活かす場を提供することで、学生の学習意欲向上を図ります。また、ボランティア活動を通して学生の主体性、社会性、人間性を育みます。



ボランティアセンターの役割

1. 神田外語大学の建学の理念『言葉は世界をつなぐ平和の礎』に基づくボランティア精神の育成と普及
2. ボランティア活動を通じての人材育成と社会貢献
3. 学内外のボランティア情報の紹介とその活動支援
4. ボランティア活動の記録とその広報活動支援
5. 学内ボランティア団体の活動支援

ボランティアセンター運営委員会構成員（2019年度）

No	所属	氏名
1	ボランティアセンター長	布川 雅英
2	学生委員長	サス・リバー・アルティオ
3	教務委員長	石居 康男
4	教職課程委員長	武田 明典
5	体育・スポーツセンター長	市瀬 良行
6	スポーツ通訳ボランティア推進室長	朴 ジョンヨン
7	英米語学科	矢頭 典枝
8	国際コミュニケーション学科	和田 純
9	イペロアメリカ言語学科	高木 耕
10	事務局長	菅野 文博
11	副学長	柳沼孝一郎

No	所属	氏名
12	教務部	羽鳥 岳裕
13	学事部	松下 和久
14	広報部	檜崎 綾子
15	国際交流課	柳田 知美
16	キャリア教育センター	杉本 雅視
17	教務部・ボランティアセンター	久保 光輝
18	ボランティアセンター	岡戸 巧
19	ボランティアセンター	白方 愛子
20	ボランティアセンター	吉原 聡
21	ボランティアセンター	松橋 亜矢

ボランティアセンター施設案内（6号館2階）



▲ボランティアセンター事務室



▲ボランティア活動エリア①



▲ボランティア活動エリア②



▲ボランティア情報ラック



▲ボランティア募集掲示板

年次報告第4号のご挨拶

ボランティア活動を通じた「学び」

神田外語大学ボランティアセンター長
アジア言語学科中国語専攻 准教授

布川 雅英



2019年度年次報告書が完成致しました。

今年度も神田外語大学から数多くの学生が、多種多様なボランティア活動に参加致しました。それぞれについて報告がありますので、ご一読いただければ幸いです。

本学のボランティアセンターは、『言葉は世界をつなぐ平和の礎』という建学の理念に基づき、様々なボランティア活動をサポートしています。このボランティア活動は、

- ①スポーツ通訳・国際大会
- ②地域貢献・国際交流
- ③国際協力・国際開発

という三つの柱に分類されます。学生は大学において、個々の活動において必要とされる知識や技能を少しずつ身に付けていきます。いわば「道具」を手にする、ということです。そして、その「道具」を実際に活かす場の一つが、ボランティア活動なのです。

ボランティアは、困っている人を助けるという一方的なものではありません。その活動を通じ、自ら学ぶという双方向的要素を有しています。学生は、実践的な場で自分の実力を客観視することにより、自ら課題に気付くのです。これは、実際にボランティア活動に参加した学生によるアンケートにも表れています。アンケートからは、学生は達成感を味わう一方で自らの力不足を痛感しつつ、それを更なる学習へのモチベーションと見ていることが見て取れます。一つ一つの経験が、学生にとってかけがえのない財産になるのです。

ボランティア活動を通じて、多様化する社会における問題やニーズを発見し、それに対して何ができるかを考え、研鑽を重ね新たな実践につなげることで、これが主体性、社会性、人間性を育みます。そしてこれらは、日々変化する社会を生きる上で大きな力となるでしょう。

2020年度も、学生の更なる活躍を期待しています。

スポーツ通訳・国際大会ボランティア

スポーツ通訳・国際大会ボランティアとは

本学の建学理念である「言葉は世界をつなぐ平和の礎」の下、国際的なスポーツイベントに携わる機会を学生に提供することで、その実践の場において言語の運用能力や社会性を育み、そして人間性を高め国際社会に貢献できる人財を育成すること、それが神田外語大学スポーツ通訳ボランティア推進室が目指す活動です。



「スポーツと 言語コミュニケーション教育から グローバル人財育成」

体育・スポーツセンター 准教授
スポーツ通訳ボランティア推進室 室長
全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成コーディネーター
朴 ジョンヨン



オリンピック・パラリンピックやワールドカップで代表されるように、スポーツの国際化・グローバル化は急速に進行しています。スポーツは国籍を問わず、言語・人種・宗教を乗り越え、世界の人々に喜びと感動、そして勇気を与える力を持っています。その意味ではスポーツは世界をつなぐ平和の共通語であり、優れたコミュニケーションツールでもあります。

神田外語大学からは毎年、国内外で開催される国際スポーツ大会・イベントに多くの学生を通訳ボランティアとして送り出しています。参加した学生からは「学んでいる言語以外に、ほかの言語を学びたいという意欲がわいた」、「外国人選手と接し、異文化理解力が深められた」など活動の充実さが窺えます。この経験を通じ、客観的な自己の言語能力に気づき、外国語学習へのモチベーションアップに繋ぎ、グローバル社会で活躍することを願ってやみません。

主な実績

◆ 主な業務内容

スポーツ通訳ボランティアの業務は、各イベントによって異なりますが、主に大会運営業務、海外選手団サポート、大会期間中の各国選手のアテンダント、式典・会議での通訳など、様々な場面でイベント運営に携わっています。



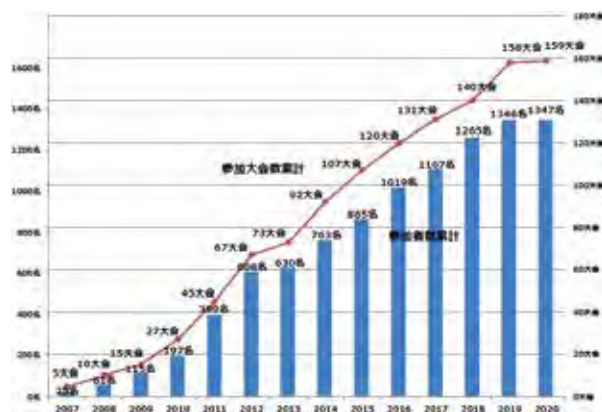
◆ 過去数年の参加実績及び主な大会名

- ・ ジェフユナイテッド市原・千葉 選手通訳 (2016~2017)
- ・ 文部科学省 スポーツ・文化・ワールド・フォーラム (2016)
- ・ 高円宮牌 フェンシングワールドカップ (2016・2017・2019)
- ・ 2017 冬季アジア札幌大会 (2017)
- ・ 世界少年野球大会 千葉大会 (2015)、横浜大会 (2017)
- ・ 第10回アジアエアガン選手権大会 (2017)
- ・ 2018平昌冬季オリンピック (2018)
- ・ WDSF世界ユースブレイキン選手権 (2018)
- ・ 第15回ジュニア合気道記念大会 (2019)
- ・ B.League U15 Challenge Cup(2019)
- ・ 世界水泳2019オランダ選手団事前キャンプ (2019)
- ・ 2019 World Taekwondo Grand-Prix (2019)
- ・ ラグビーワールドカップ (2019)

◆ 言語別総計

英語	韓国語	中国語	スペイン語	ポルトガル語	ロシア語	インドネシア語	ベトナム語	タイ語	タガログ語
951名	174名	116名	65名	21名	6名	3名	3名	4名	1名

◆ 年別実績推移



スポーツ通訳ボランティアを体験した卒業生からの声

英米語学科 2020年卒業

蛇沼 香野(大手航空会社関連企業勤務)

【参加した大会】

- ・2018年 平昌冬季オリンピック
- ・2019年 World Taekwondo Grand-Prix
- ・2019年 ラグビーワールドカップ

2年次に参加した平昌冬季オリンピックをきっかけに、様々なボランティア活動に参加させていただきました。活動を通して、通常の学校生活やアルバイトではできない、語学の面ではもちろんのこと、人と人との繋がりを感じることのできる貴重な経験をすることができました。特に、語学を活かせる活動では、大学で学んだことを発揮したり、自身の改善点を発見できたことで、その後の語学学習のモチベーションにも繋がりました。さらに、就職活動の時期には、ボランティア活動での経験を元に自身の将来像について考えることができました。

ボランティア活動は人により捉え方が様々で、私自身も参加を躊躇っていました。しかし、自身が成長できる場であることは間違いありません。みなさんも是非、ボランティア活動に参加してみてください！



英米語学科 2020年卒業

谷津 佑典(大手専門商社勤務)

【参加した大会】

- ・2017年 冬季アジア大会札幌大会
- ・2018年 千葉アクアラインマラソン
- ・2019年 ラグビーワールドカップ

通訳ボランティアへの参加は1人の人間として、1人の学生として大きく飛躍するきっかけとなりました。ボランティア活動によってできた世界中の知人や特別な経験は何にも代えることができません。また、通訳ボランティアは大学で学んだ言語や異文化理解の知識を実践の場で試すことができます。そこで失敗することも沢山あると思いますが、それこそが国際社会に貢献できる人材になる第一歩だと考えます。私は失敗からコミュニケーションや気遣いの大切さに改めて気付かされました。これは社会人の業務でも大切なことだと感じています。私がボランティア活動で多くの刺激を受けて成長できた様に、皆さんにもそのチャンスを掴み取って頂けたら良いと思います。



国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻 2020年卒業

村田 真悠(在韓国日本国大使館 在外公館派遣員)

【参加した大会】

- ・2017年 冬季アジア大会札幌大会
- ・2018年 平昌冬季オリンピック
- ・2019年 高円宮杯フェンシングワールドカップ

外国語で人とつながる仕事がしたいという夢を持っていましたが、具体的に何から始めればよいか分からずにいたときに、スポーツ通訳ボランティアに出会いました。自身のアスリート経験を活かして外国語を使って活動することは、言語を学ぶモチベーションを高めたのはもちろん、とても興味深いものでした。

目の前に溢れるチャンスを捉えて一歩踏み出してみると、なりたい自分の姿がおぼろげながら見えてきます。活動経験を重ねるうちに、その姿が少しずつ、より明確になってくるのだと私は確信します。

ぜひスポーツ通訳ボランティアの世界に踏み込んでください。何か新しい自分の姿が見えてくるはずです。



全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー ～世界スポーツ・国際イベントに向けて～

概要

2015年～2019年までの開催状況：

回	開催日程	開催場所	参加者数
第1回	2015年8月24日(月)～27日(水)	神田外語大学	236名
第2回	2016年2月9日(火)～12日(金)	神田外語大学	197名
第3回	2016年9月6日(火)～9日(金)	神田外語大学	367名
第4回	2017年2月15日(水)～18日(土)	京都外国語大学	178名
第5回	2017年9月5日(火)～8日(金)	神田外語大学	356名
第6回	2018年8月29日(水)～31日(金)	神田外語大学	424名
第7回	2019年8月28日(水)～30日(金)	神田外語大学	207名

受講対象：

関西外国語大学、神田外語大学、京都外国語大学、神戸市外国語大学、東京外国語大学、長崎外国語大学、名古屋外国語大学

特別協力機関：

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会（第7回）

後援機関：

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部（第5～7回）
 文部科学省（第1～7回） 外務省（第1～7回） 観光庁（第1～3、5～7回） 東京都（第5～7回）
 千葉県（第1～3、5～7回）
 京都府（第4回） 京都市（第4回） 京都府教育委員会（第4回） 京都市教育委員会（第4回）
 2017札幌アジア冬季大会組織委員会（第1～3回）
 2018平昌（ピョンチャン）オリンピック・パラリンピック大会組織委員会（第3、5回）
 公益財団法人 ラグビーワールドカップ2019組織委員会（第1～7回）
 一般社団法人 関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会（第3、4回）
 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会（第1～7回）
 NPO法人 日本オリンピック・アカデミー（第1～3、5～7回）
 一般社団法人 全国外国語教育振興協会（第1～3、5～7回）

協力機関：

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（第1～5回）
 一般社団法人 ホスピタリティ機構（第1～3、5回まで）

全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナーについて

グローバル社会が急速に進行している中、真のグローバル人材に求められるのは語学力だけでなく、世界に通用する人間力です。つまり、自ら主体的に考え、責任を持って行動することが重要です。

このセミナーは人間としてのキャパシティを広げるための学び、リベラルアーツ（教養教育）を身につけるために役立つカリキュラムになっています。

内容としてはスポーツ・文化を始め日本・異文化理解そして、ホスピタリティマインド、通訳技法・スキル等幅広い知識・技能を学ぶことができます。

全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナーの開催報告（第1回～第7回）

神田外語大学では、これまで様々な国際スポーツ大会において、多くの学生をスポーツ通訳ボランティアとして送り出してきました。オリンピックやワールドカップで代表されるように、スポーツの国際化、グローバル化が急速に進行している中、大会の円滑な運営には言語・コミュニケーションの分野が大きな課題とされ、外国語が使えるボランティアの存在は必要不可欠になってきています。この活動は体育・スポーツがもたらす社会・教育的な機能及び効果を検証すると同時に、語学・コミュニケーション力などグローバル人材育成に寄与する貴重な実践の場を提供するものです。

これまでの実績と成果のもと、2014年11月に開催された全国外大学長会議（場所：京都外国語大学）で、全国7つの外語大が連携し、通訳ボランティア育成を進めていくことが決定しました。それに伴い2015年8月に第1回目となる「全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー」を神田外語大学にて開催しました。

2019年8月28日(水)～30日(金)に神田外語大学において行われた第7回通訳ボランティア育成セミナーでは、207名の学生が参加しました。

セミナー初日には、スポーツ文化やパラスポーツ、共生社会と人間学など幅広いスポーツ教養・教育について講義が行われました。

また、特別講演としてスポーツ庁鈴木大地長官が登壇され、スポーツの素晴らしさや今後の大会におけるボランティアの重要性について話されました。

2日目の一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会（特別協力）による国際スポーツボランティアの講義では、通訳ボランティア経験者発表を通じて、外大生間のディスカッションが活発に行われました。その他、プロのマナー講師によるおもてなしワークショップ、アドベンチャー・コミュニケーション・プログラム（ACP）、ロールプレイを取り入れた組織とリーダーシップ講座など、学生たちは、通訳ボランティアに求められる語学以外のスキルも磨きました。講義を受けた学生は、語学力だけではなくコミュニケーションの橋渡しをしようという意欲を常に持ちつつ、そのチャンスが与えられればぜひ積極的にチャレンジし、経験を積み重ねていきたい、と挑戦していく意欲を語りました。

3日目には、日本フェンシング協会理事/JOCアスリート委員の千田健太氏による、アスリートから学ぶ人間力の講演や、実践的な通訳技法、異文化理解の講義も行われ、充実した3日間の研修となりました。

今後、このセミナーで学んだ知識・スキルが外国語を学ぶ学生たちの役に立ち、スポーツを通じて世界の平和に貢献できるグローバル人材が多く輩出できることを心から願っています。



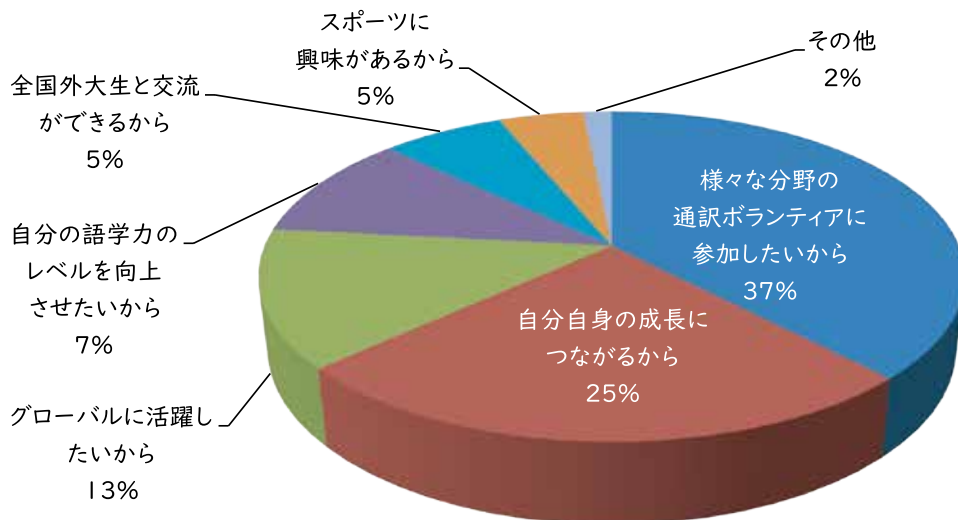
資料1 大学別の受講者数（第1回～第7回）

大学名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	各大学 総受講者数
関西外国語大学	27	24	29	46	34	24	28	212
神田外国語大学	119	120	220	17	221	324	121	1,142
京都外国語大学	27	21	54	60	55	24	36	277
神戸市外国語大学	9	4	5	8	0	3	3	32
東京外国語大学	6	1	0	0	4	0	0	11
長崎外国語大学	21	13	29	11	22	26	9	131
名古屋外国語大学	27	14	30	36	20	23	10	160
回毎の受講者数	236	197	367	178	356	424	207	1,965
受講者数推移(延べ数)	236	433	800	978	1,334	1,758	1,965	

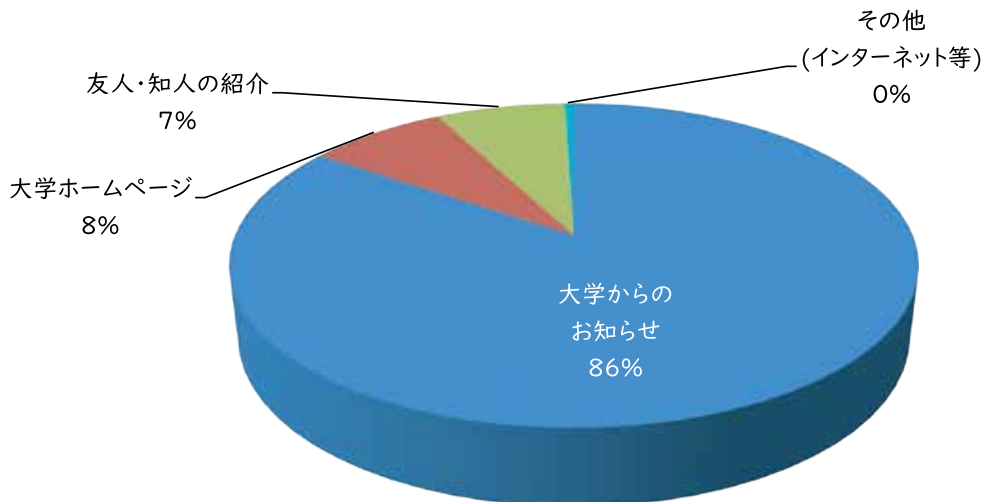
資料2 参加動機（第1回～第7回）

2-1 参加目的

※第1～7回通訳ボランティア育成セミナー参加者の回答を集計



2-2 参加へのきっかけ

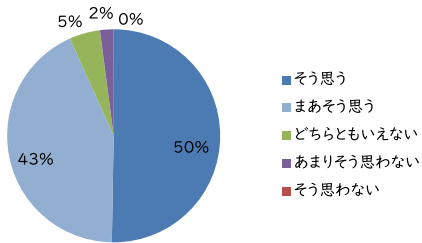


回答者数：1,710人

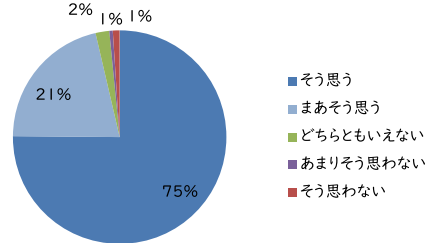
資料3 参加後の自己評価（第1回～第7回）

※第1～7回通訳ボランティア育成セミナー参加者の回答を集計

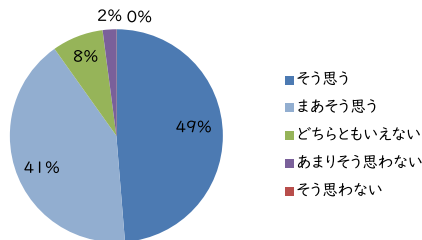
1. セミナーを受講してグローバル人材とは何か
そのために何をすべきかが明確になった



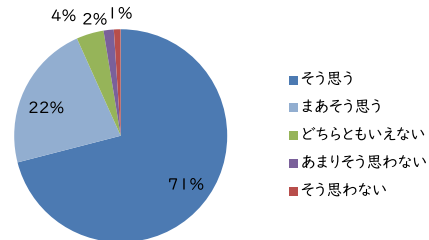
2. 語学力とコミュニケーション力の
必要性について学ぶことができた



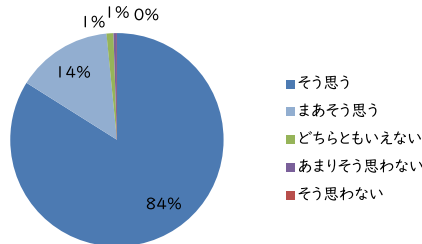
3. スポーツを取り巻く多様な分野や
専門知識の理解が深まった



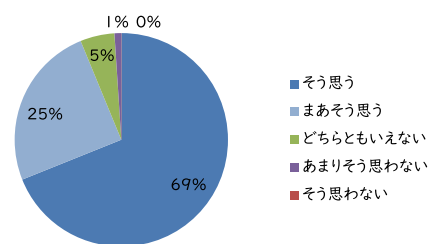
4. 参加する前より語学を学ぶ意義と
学習意欲が高まった



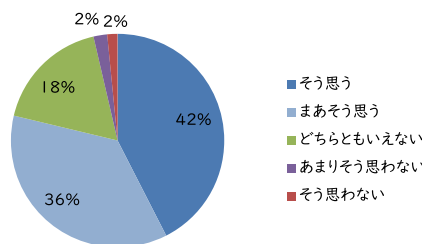
5. 今後、通訳ボランティア実践や様々な活動に今より
積極的にチャレンジしてみたい



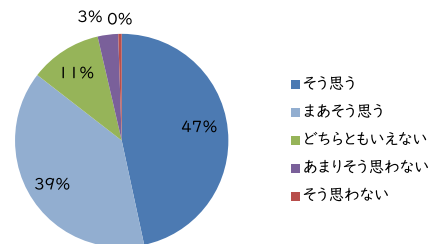
6. 受講前よりスポーツを通じて
異文化・国際交流に興味が高まった



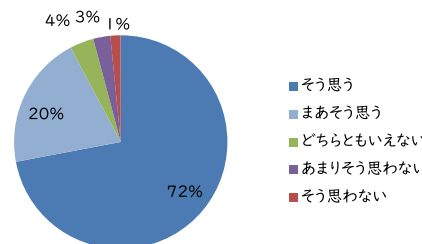
7. 日本人としてのアイデンティティについて考えるよう
になった



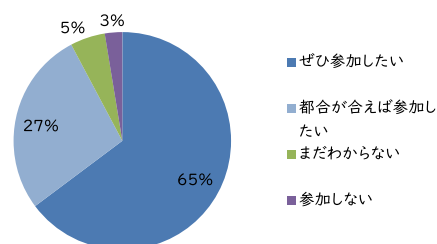
8. 自分の興味・関心がある分野に気づき、
新たな自分を発見した



9. このセミナーを受講して
満足している



10. 将来、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
に、通訳ボランティアとして関わりたいか？



回答者数：193人

スポーツ通訳ボランティア推進室による 通訳ボランティアの取り組み

◆東京2020ホストタウンボランティア養成講座（2019年6月29日(土)）

2019年6月29日（土）神田外語大学にて、『東京2020ホストタウンボランティア養成講座』を実施しました。東京2020ホストタウンボランティア参加を希望する69名の学生が申込み、講座には64名が参加しました。

東京2020に向けて、ホストタウンの現状や外国人選手団や海外の観光客向けのボランティア活動に必要な知識や心構えを学ぶことを目的に開催されました。

午前の部では、筑波大学真田久教授より「オリンピック・パラリンピックの歴史と教育」、同学江上いずみ客員教授より「ホスピタリティマインドと異文化コミュニケーション」の講義を通して、ボランティア参加に向けた基礎領域を学びました。さらに、数々の通訳ボランティアを経験してきた本学卒業生2名（長尾滉さん、眞壁ひとみさん）の講演では、経験談を通して参加への意義やキャリア形成など、これから参加する学生にとって刺激的な内容となりました。

午後の部では、内閣官房勝野総括参事官より「2020年に向けたホストタウンの取り組みについて」の講演を始め、ホストタウンの現状やボランティア具体例を通して、ホストタウンボランティアの理解を深めました。



開催日程：2019年6月29日(土) 9:30~17:15

開催場所：2-201教室

目的：東京2020に向けて、ホストタウンの現状や外国人選手団や海外の観光客向けのボランティア活動に必要な知識や心構えを学ぶ。

主催：神田外語大学ボランティアセンター・スポーツ通訳ボランティア推進室

協力：オリンピック・パラリンピック等経済界協議会



◆ 7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座（2019年11月30日、12月1日）

2019年11月30日(土)、12月1日(日)の2日間、スポーツを軸に社会・人文・自然科学分野の幅広い教養を高める機会の創出を目的に、「7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座～スポーツを通じた社会貢献～」が開催されました。

(※7大学：神田外語大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、立教大学、早稲田大学)

2019年度の講座は1日目を東京大学駒場地区キャンパス、2日目を筑波大学附属中学・高等学校で開催。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等、スポーツやその関連分野に興味のある学生を対象に、「グローバル社会におけるスポーツの多様性」「東京2020大会意義や21世紀のスポーツ」という2つのテーマで開講しました。2018年度の開催に引き続き、7大学の特色を生かしたコンテンツにより、グローバル社会に活躍できる教養人の育成はもちろん、グループワークによるアクティビティを通して、他大学の学生交流が深まりました。



主 催：7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座実行委員会
(神田外語大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、立教大学、早稲田大学)

日 程：〈1日目〉2019年11月30日(土) 9:00～18:30
(東京大学駒場地区キャンパス)
〈2日目〉2019年12月1日(日) 9:00～17:00
(筑波大学附属中学・高等学校)

参加者数：100名

・神田外語大学 27名 ・慶應義塾大学 3名 ・上智大学 13名
・筑波大学 5名 ・東京大学 4名 ・立教大学 20名
・早稲田大学 28名

※学校名五十音順

■ アジア言語学科1年(当時) 照井 千尋さん

この二日間、普段大学では学んでいないような分野の講義をたくさん受けることができとても有意義な時間であったと感じています。

自分が専攻している言語という分野を将来どのように活かしていくかを考える良いきっかけにもなりました。



◆東京2020オリンピック・パラリンピック関連ボランティア説明会（2019年9月、2020年1月）

2019年9月27日（金）、及び2020年1月29日（水）に、東京2020オリンピック・パラリンピック関連の有償ボランティア説明会を実施しました。

2019年9月にはオリンピック放送機構でのブロードキャストトレーニングプログラムについて、2020年1月には3社合同の競技会場周辺や選手村での有償ボランティアについての説明会が行われ、大会ボランティアや都市ボランティアには応募しそびれたが、今からでもオリンピック・パラリンピックにかかわれる有償ボランティアにかかわりたいという多くの学生が参加しました。



地域貢献・国際交流ボランティア

地域貢献・国際交流ボランティアとは

学生は地域社会が抱える様々なニーズや課題を自ら発見することで、地域との協働意識を持ち、ボランティア体験を通して主体的、能動的に行動することを学びます。

神田外語大学で「世界を学ぶ」、 学びの実践をボランティア活動で 「世界の和をつなぐ」！

副学長・イベロアメリカ言語学科教授（当時）

柳 沼 孝 一 郎



神田外語大学は英語名をKanda University of International Studies、KUIS（クイス）といいます。建学の精神「言葉は世界をつなぐ平和の礎」そして、「言葉と文化」すなわち「言語教育と教養教育をもって真の国際人を育成する」との使命がこめられているからです。神田外語大学で学ぶということは、日本も含む「世界を学ぶ」ということを意味しているのです。

日々研鑽を積む多くの本学学生はこれまで様々なボランティア活動に参加して参りました。宮城県亘理町における「東日本大震災復興教育ボランティア」や福島県天栄村での「児童英語教育実践」、近隣地域の「打瀬小学校留学生文化交流」や「幕張南小学校ニュージーランド交流会」、「1998長野オリンピック」から本格化したスポーツ通訳ボランティアでは「第3回WBSC U-15ベースボールワールドカップ2016 in いわき」や千葉県内で開催された「第16回WBSC世界女子ソフトボール選手権大会2018」、「2018平昌冬季オリンピック」、「ラグビーワールドカップ2019」、「全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー」や神田外語大学と千葉県立保健医療大学共催の「初期医療言語サービスボランティア研修」、さらには「サマーソニック前夜祭」と「駅・幕張の浜周辺クリーン大運動」や「千葉市民花火大会」そして「幕張新都心賑わいづくり研究会学生部」や「幕チャリ」等々、その活動は国内外を問わず多岐にわたっています。すべてが本学学生がこれまで積み上げ継承してきた本学の伝統でありレガシーです。

ボランティア活動は「人」を優しくします。強くもします。支えあい、つながって「人」が成り立ち、「和顔愛語」が育まれるからです。本学での学びの実践を、ボランティア活動を通して、人と人の和を紡ぎ、絆の輪を結び、「地域」と「世界」をつなぎ、皆さん一人ひとりの思いを神田外語大学から日本国内へ、国際社会へ発信していくことを切に願ってやみません。

主な実績

◆ユニセフのつどい2019運営補助ボランティア



2019年7月7日（日）千葉県ユニセフ協会設立15周年記念「ユニセフのつどい2019」が本学近くのホテルスプリングス幕張スプリングスホールにて行われ、本学在学学生7名が運営ボランティアとして参加しました。

在学学生は会場設営及び撤収、一般受付、役員誘導、募金呼びかけなどの役割を担いながら、プログラム中は後方の席できみつ少年少女合唱団による合唱に耳を傾けたり、ボーイスカウトやガールスカウトによる発表や国谷裕子さんによる講演にて、主にSDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」についての知識を深めることもできました。

最後はイルカさんの「まあいいのち」という曲で皆で歌いながら手話ダンスをし、ボランティアの学生達も一緒になって会場を盛り上げました。

◆第7回アフリカ開発会議（TICAD7）運営補助ボランティア



2019年8月28日（水）～30日（金）の3日間、「第7回アフリカ開発会議（TICAD7）」がパシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい）にて開催され、10名の在学学生と1名の卒業生が運営補助ボランティアとして参加しました。

在学学生たちは、8月24日（土）～30日（金）の「中期」と8月27日（火）～30日（金）の「短期」に分かれ、TICAD7会議運営の補助的業務やサイドイベントの支援業務などそれぞれ活動を行いました。在学学生たちは、誘導やパンフレット配りや、議場の管理、大臣や総理主催のレセプションや二ヶ国間会談の補助、デレゲーションランチ、晩餐会等のアフリカ各国要人の誘導・案内まで幅広く任せていただきました。

◆第89回FICCオートキャンプ世界大会通訳・運営ボランティア



2019年9月27日（金）～10月6日（日）の10日間、第89回FICCオートキャンプ世界大会実行委員会主催の「第89回FICCオートキャンプ世界大会」が福島県天栄村 羽鳥湖高原にて開催され、9名の在学学生が通訳及び運営ボランティアとして参加しました。この大会には、アジア、ヨーロッパよりキャンパーが多く来日するため、キャンプを通じた国際交流が期待できます。

在学学生たちは、来日された参加者の通訳や一日バスツアーに同行し、本格的な通訳、運営面では会場設営のお手伝い、開会式の進行などを行いました。来日された多くの方と触れ合うことで交流を深めることができ、充実した活動を行うことができました。

第15回幕チャリ

2019年5月19日(日)、学生主催のチャリティイベント「第15回幕チャリ」が開催されました。

「幕チャリ」は学生が大学、地域住民、企業、自治体などと連携し、「気軽にできる社会貢献システムを幕張から日本に広める」というミッションのもと2005年に始まりました。例年、本学の学生ボランティア団体「神田外語大学CUP(Create Universal Peace)」が主催しています。

15回目となる今回は、これまでのチャリティ精神と伝統を継承しつつ、さまざまなアプローチのチャリティ・イベントを目指したものとなりました。恒例のチャリティ・フリーマーケットやオークション、屋台のほか、ラグビーワールドカップイヤーに合わせた「ラグビー教室」の開講や「キャンドル作製体験ブース」など、大人から子供まで楽しめる多数のイベントが開催され、多くの人々で賑わいました。

また1号館前のステージでは和太鼓サークル神樂やフラメンコ舞踊部Las☆Bakandasなど、6つのサークルがパフォーマンスを行い、多くの観客を魅了しました。



幕張チャリティ・フリーマーケット2005年～2019年度実績

年度	日程	売上等総額	寄付金	寄付先	応援販売
2005	5月21日(土) 22日(日)	101万円	100万円	全国盲導犬施設連合会	なし
2006	5月20日(土) 21日(日)	80万円	65万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	なし
2007	5月19日(土) 20日(日)	130万円	130万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	なし
2008	5月17日(土) 18日(日)	202万円	202万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	なし
2009	5月16日(土) 17日(日)	184万円	184万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	なし
2010	5月15日(土) 16日(日)	151万円	151万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	なし
2011	5月21日(土) 22日(日)	205万円	205万円	神田外語グループ東日本大震災復興支援プロジェクト	なし
2012	5月19日(土) 20日(日)	217万円	107万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	107万円
2013	5月18日(土) 19日(日)	150万円	110万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	40万円
2014	5月17日(土) 18日(日)	128万円	75万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	53万円
2015	5月23日(土) 24日(日)	132万円	82万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	43万円
2016	5月29日(日)	71万円	28万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	21万円
2017	5月27日(土)	43万円	25万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	6万円
2018	5月27日(日)	36万円	30万円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	6万円
2019	5月19日(日)	432,261円	217,086円	公益信託 「アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)」	135,660円

※2016年度は熊本地震への緊急支援として221,214円を日本赤十字社義捐金及び日本財団ボランティア活動資金へ寄付

※2017年度は熊本地震復興支援として122,335円を熊本県益城町に寄付

※幕チャリでは、秋の学園祭「浜風祭」でも小規模なフリーマーケットを開催し、これまでに約80万円をACTに寄付しています。

東日本大震災復興支援プロジェクト 2011年度～2019年度の記録

はじめに

神田外語グループでは、復興支援プロジェクトの一環として、英語をはじめとする外国語の運用能力において高い評価を頂戴している神田外語大学・神田外語学院の学生が被災地を訪問し、英語教育活動を支援しています。

2011年の活動から今年で10年目を迎える東日本大震災復興教育ボランティア（以下、復興教育ボランティア）は、英語教育活動を通して、被災地の子供たちに英語を楽しく学んでもらい、継続して被災地を訪れることで震災を風化させないことを目的に活動しています。2019年度は、震災復興支援団体「MAKE SMILE」を中心として、宮城県亘理町の7ヶ所の児童館で神田外語大学生27名が活動をしました。



▲荒浜地区にて語り部ツアー



▲津波到達地点表示



▲津波襲来の地表示



▲英語アクティビティの様子

2011年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/21、22	東日本大震災復興支援緊急募張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村	神田外語大学	3,800
5月下旬～ 7月中旬	英語教育活動の支援ボランティア	千葉県旭市小学校	6
7/20	シンポジウム 「3.11東日本大震災を考える—私たちに何ができるだろうか」	神田外語大学	80
8/9～11	宮城県：亶理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亶理町	16
8/22～26	宮城県：東松島市の浜市小学校、仮設住宅における活動支援	宮城県：東松島市	20
8/30～9/1	宮城県：女川町の仮設住宅における活動支援	宮城県：女川町	15
9/5～7	福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町	6
9/6～9	宮城県：南三陸町歌津中学校での教育支援ボランティア	宮城県：南三陸町	21
9/12	第1回東日本大震災復興ボランティア報告会	神田外語大学	—

※応援買い：募チャリでは「3.11を忘れない」を合言葉に震災復興支援を継続するため、地域の産品を積極的に購入することで被災地の生活再建、産業復興、雇用拡大を支援するという意味を込めた東北物産展エリアを展開しています。

2012年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/19、20	第8回募張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、稲毛商店街振興組合、(株)街づくりまんぼう、Power of Japan	神田外語大学	2,300
8/7～11	宮城県：亶理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亶理町	13
8/28～31	宮城県：東松島市の浜市小学校、仮設住宅における活動支援	宮城県：東松島市	8
9/2～5	福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町	9
11/7	第2回東日本大震災復興教育ボランティア報告会	神田外語大学7号館2F クリスタルホール	—

2013年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/18、19	第9回募張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会	神田外語大学	2,800
6/19、21	東日本大震災復興教育ボランティア説明会	神田外語大学	264
8/5～9	宮城県：亶理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亶理町	39
9/1～5	福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町	17
11/7	第3回東日本大震災復興教育ボランティア報告会・講演会	神田外語大学7号館2F クリスタルホール	30

2014年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/17、18	第10回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、社会福祉法人はたまき・手づくりの里、株式会社一松商店	神田外語大学	2,000
5/17、18	MAKE SMILE～こども英語プロジェクト～ ⇒近隣の小学生を対象に行った英語アクティビティと被災地のパネル展示	神田外語大学 芝グラウンド	56
8/4～8	宮城県：亶理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亶理町	40
8/31～9/5	福島県：三春町/天栄村の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町 天栄村	17
11/1、2	浜風祭での活動紹介パネル展示	神田外語大学	106
11/11	第4回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（福島県三春町・天栄村）	神田外語大学	21
11/12	第4回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（宮城県亶理町）	神田外語大学	32

2015年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/23、24	第11回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、社会福祉法人はたまき・手づくりの里、株式会社一松商店	神田外語大学	2,400
8/3～7	宮城県：亶理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亶理町	33
8/30～9/4	福島県：三春町/天栄村の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町 天栄村	18
10/31、11/1	浜風祭での活動紹介パネル展示	神田外語大学	120
11/16	第5回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（福島県三春町・天栄村）	神田外語大学	20
12/1	第5回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（宮城県亶理町）	神田外語大学	28

2016年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/29	第12回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、社会福祉法人はたまき・手づくりの里、株式会社一松商店南三陸さんさん商店街、翔ジャパン株式会社	神田外語大学	1,350
8/1～5	宮城県：亶理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亶理町	19
8/30～9/2	福島県：天栄村の小学校における英語教育活動の支援	福島県：天栄村	20
10/14	第6回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（福島県三春町・天栄村）	神田外語大学	21
10/17	第6回東日本大震災復興支援ボランティア報告会（宮城県亶理町）	神田外語大学	32
10/29、30	浜風祭での活動紹介パネル展示	神田外語大学	150

2017年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/27	第13回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター 和田ゼミ社会起業研究会、翔ジャパン、株式会社一松商店、社会福祉法人友好会、千葉のり店、みずきの里丸森	神田外語大学	1,400
7/31～8/4	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	28
10/28、29	浜風祭での活動紹介パネル展示	神田外語大学	—
12/19	「東北の新月」学内上映会の企画運営、活動報告	神田外語大学	50

2018年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/27	第14回幕張チャリ×ソラビト ※応援買い：ブリティッシュヒルズ、お菓子工房木村屋、気仙沼やまちょう、千葉のり店、和田ゼミ社会起業研究会、はらから社会福祉会、フレンズ、ヤマサコウショウ	神田外語大学	1,500
8/6～8/10	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	27
10/27、28	浜風祭での活動紹介パネル展示、南三陸産ワカメを使ったワカメ餃子の販売	神田外語大学	—
3/11、12	交流のアルバムを寄贈	宮城県：亘理町	4

2019年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/19	第15回幕チャリ	神田外語大学	1,400
8/5～8/8	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	27
10/26、27	浜風祭での活動紹介パネル展示、南三陸産ワカメを使ったワカメ餃子の販売	神田外語大学	—

2019年度宮城県亶理町ボランティア詳細

2019年8月5日（月）～8月8日（木）の4日間、在学生27名が宮城県亶理町にある7つの児童館で復興教育ボランティアを行いました。各児童館での英語教育ボランティア前に、震災語り部の会ワッターに参加し、震災当時の映像を見たり、お話しをお伺いしたりしながら荒浜地区を訪問し事前学習をしました。昨年に引き続き今回も通常の活動に加えて、一般社団法人HAND STAMP ART PROJECTとのコラボレーションも行いました。この団体は、病気や障がいを抱える子どもたちを支援するために活動しています。在学生たちは亶理町の子どもたちとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて巨大アートを作るプロジェクトに参加しました。

この復興教育ボランティア活動は、震災復興支援団体MAKE SMILEが中心となり、資金集めから企画・学生募集・ボランティア当日の運営を担っています。

今後も一層亶理町や児童館との連携を深め、継続支援につなげていきたいと考えています。

日 程	2019年8月5日（月）～8月8日（木）
場 所 宮城県亶理町	亶理町中央児童センター、逢隈児童館、荒浜児童クラブ、高屋児童クラブ、 吉田児童クラブ、吉田西児童クラブ、中町児童クラブ
内 容	・児童館での英語アクティビティおよび子供たちの勉強、遊びサポート ・震災語り部ワッターツアーに参加し、震災復興について学びを深める
参加者	27名 ※震災復興支援団体MAKE SMILEが企画・学生募集 プログラム運営・手配・管理まで中心的に担った
外部助成金	同好会補助金 29万9,800円

活動の記録



▲2階以上に教室を設置した巨理町立荒浜中学校



▲津波に流された船



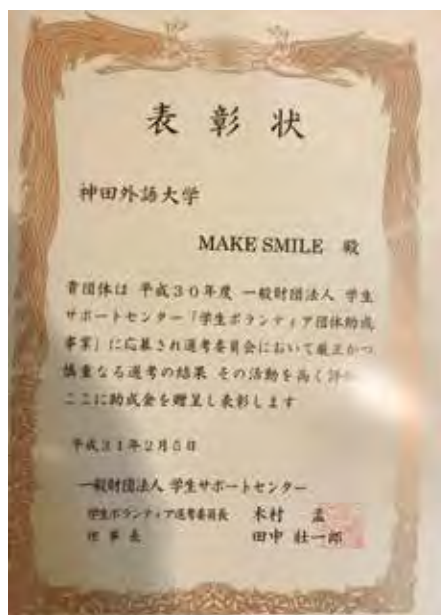
▲活動の様子



▲巨理町内で行われた3.11追悼イベントにて



▲学生サポートセンター助成金受賞式にて



▲いただいた表彰状

災害募金活動

2019年に甚大な被害をもたらした「令和元年台風第15号」および「令和元年台風第19号」の復興支援として、震災復興支援団体MAKE SMILEを中心に学内で募金活動を行いました。

日 程 15号 2019年9月18日(水)～21日(土)
 19号 2019年10月26日(土)～27日(日)
 2019年11月13日(水)～14日(木)

場 所 食神前、千葉銀行ATM前、募金箱（食堂などに設置）

お預かりしました募金は次の通りです。

- ・令和元年台風第15号 【総額】 53,398円 （寄付先：千葉県）
- ・令和元年台風第19号 【総額】 15,602円 （寄付先：宮城県）

今後も被災地の復旧・復興を願うとともに、温かいご支援をくださいました皆様に心より感謝申し上げます。



参加学生の声



MAKE SMILE 代表
英米語学科・2年（当時）
東原風花

「私達は何のためにボランティアをしているのか、今私達にできる事は何なのか、被災地の方々が今本当に求めている復興支援とは何なのか。」この1年はずっとそう自分達に問いかけていました。東日本大震災から9年近くの年月を経て、私達が行なっているボランティアも9年目に入り、現地の状況や人々の暮らし、そして私達が行なっているボランティアの意義も変化してきたと感じられたからです。

当初私達のボランティアは、震災を経験した子供たちの心のケアをすることを主な目的として開始されました。しかし、私達が今現在関わっている子供たちの多くは小学校低学年から中学年で、震災が起きた時まだ生まれていない、または震災の記憶が無いほど当時幼かった子供たちです。それを考えた時、時間の流れと共に被災地の人々が求める支援が変化するのは当然のことで、私達は自分達の活動の意義を見直す必要があると思いました。

私達がここ2年掲げてきたボランティアのテーマは「継続」です。これは現地で主に私達が関わっている子供たちに対してだけでなく、ボランティアをする中で関わらせていただく大人の方達に対してでもあります。東日本大震災が起こった時、被災地の方達は、一瞬にして理不尽に大切なものたちを奪われました。思い入れの詰まった家、大切な思い出の品々、もちろん大切な人と突然永遠の別れを強いられた人達も大勢います。そういった人たちが経験した痛みや心に残った傷の深さは、当事者でない私達には到底想像してもしきれません。そんな中で私達にできる事があるとすれば、それは毎年継続して被災地を訪問し人々に関わる事で「毎年会いにきてくれる人たちがいる」「変わらないものもある」「自分達は忘れられていない」と感じてもらう事だと考えました。また震災の記憶を持たない子供たちも、これから成長して自分達が生まれ育った土地の悲しい記憶を知ることになると思います。そんな時に、私達と作った夏の楽しい思い出をふと思い出して、自分達は素敵な場所で育ったんだと思ってもらうきっかけになることができればこの上ない幸せです。

また、私達が行っているボランティアの中には現地のガイドさんをお招きして被災地をバスで巡りながら当時の様子や現状を教えていただくというプログラムも組み込まれています。これは震災当時の事や被災地の現状を自分達の手で見て学内外へ発信するためです。震災から月日が経ちメディアで被災地のことが取り上げられる機会も減った今だからこそ、当時の記憶を風化させないためにこういった活動はこれからますます必要になってくると感じます。

東日本大震災から月日が経ち、被災地の状況も被災地に対する世の中の見方も変わってきました。そんな中で、変わらず被災地に関心を向け、自分達にできる事や自分達が求められていることは何なのかを常に考え変化していく事が、今の私達の義務であり活動する意義だと考えています。

国際協力・国際開発ボランティア

国際協力・国際開発ボランティアとは

学生は海外ボランティアプログラムに参加し、大学で培った知識・技能を国際協力の現場で活用していきます。言語や文化の異なる人々と協力し合いながら活動する中で「世界の諸問題に目を向け、問題解決に向けて主体的に行動する力」と「国際社会で通用するコミュニケーション能力」を養い、幅広い視野を持つグローバル人材の育成を目指します。

2020年は国際協力・国際開発ボランティアにとっては至難の年となりました。新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、人々の移動が制限され、密集することが敬遠されるようになりました。経済活動に対する規制や自粛により多くの人が生活苦に陥り、物流の停滞は物資の不足を引き起こしました。「あたりまえ」だった価値観が短期間のうちに崩壊してしまうという恐ろしさを実感させられました。

日本国内のボランティア制度も大きな影響を受けました。東京オリンピックの延期は開催中にボランティア活動をしように決めていた人たちの予定を大きく変えることになりました。青年海外協力隊派遣の見送りも決まりました。国際交流拡大の機会と期待されていたものが、一瞬にして自宅から出ることさえ困難を感じる事態となりました。

イベロアメリカ言語学科准教授
(CIEE海外ボランティア単位認定教員)

高木 耕



実は、21世紀は「感染症の時代」となるであろうことは早い時期から言われていました。グローバル化によって人の移動が盛んになるにつれて、病気の拡散も世界的規模で起きることは避けられなかったと言えます。今後も類似する現象は繰り返されることでしょう。いったんパンデミックが起きると医療従事者が不足するいわゆる「医療崩壊」が起きるといった怖さも知りました。

このような世界規模の危機が起きるともっとも大きな打撃を受けるのは発展途上国に暮らす人々です。また、先進国でも貧困家庭への影響が真っ先に出ています。経済活動の縮小によって職を失った人も多く、こうした人たちへの支援は感染症の拡大が抑制されたあとになっても必要となるでしょう。

多くの人に試練を与えた騒ぎの中で、今後の希望へとつながる動きも見え始めています。まず、民間レベルでの「助け合い」の精神が強まったと言えます。公共機関による対策は効果を発揮するのに時間がかかりやすいことや、個人への細かい対処には向いていない点が指摘されています。その点を補うために一般市民がSNSを使って迅速な支援や協力要請を行う動きが広まりました。また、ミーティングツールを使った情報交換によって、地域や国境を越えた連帯も生まれています。

インターネットの拡充はこうした新しい形の「国際協力」の可能性を広げています。いっぽうで、インターネットはあくまでも「ツール」であり、インターネットを利用する人間の持つ知識や教養、経験がますます問われる時代であると言えるでしょう。大学における学業とボランティア活動の両立は、現代社会を生きるために必要な知識と教養、経験、そのすべてをもたらしてくれるはずで

CIEE海外ボランティアプログラム

一般社団法人CIEE国際教育交換協議会^{注1}のボランティアプログラムを通して夏季・春季に海外でのボランティア活動を行っています。

注1) 一般社団法人CIEE国際教育交換協議会とは、アメリカに本部を持つ非営利教育団体です。「TOEFLテスト日本事務局」としてTOEFLテスト公式情報を発信しています。

※単位認定科目

「国際ボランティアプロジェクト」に2週間以上参加した学生に対し、4つの課題をこなすことを条件に「国際ボランティア体験」という科目名で、2単位を認定しています。

■ 主な実績

◆ 国際ボランティアプロジェクト(ヨーロッパ、北中米、アジアの約35カ国で開催)



様々な国から集まったボランティアとともに共同生活し、国際交流しながら、現地の社会や人々に貢献できる活動です。

メキシコでは、ビーチでウミガメを保護するプロジェクトに参加しました。

◆ 教師アシスタントボランティア (アメリカ)



教師アシスタントとして現地でホームステイをしながら、小学校にて教材準備のお手伝いや授業中の児童のサポートを行いました。授業の中で、1時間ほど時間をもらい、日本の文化や言語の紹介をしました。子供達は日本の文化に興味津々で、自ら鶴の折り方などを聞いてくる子供もいました。

◆ 日本語教師アシスタント (インドネシア)



インドネシアの高校で、ホームステイをしながら日本語クラスで日本語や日本の文化を教えました。高校だけではなく現地の大学においても「異文化理解」の授業内で、日本についてのプレゼンテーションを実施し、日本の現代文化などを中心に教えました。

参加学生の声

2019年度夏 国際ボランティアプロジェクト参加
英米語学科 1年（当時）

嬉野 七樺さん



私がCIEE国際ボランティアプロジェクトに参加を決めた理由は、大きく分けて3つです。

1つ目に、語学力の向上です。夏の長期休暇には大学で培った英語で話す習慣がなくなってしまい、入学前に戻ってしまうのではないかと不安があったからです。また、他の日本人の参加者がいるとその人との英語のレベルを比べてしまったり、日本語が話せるという環境に甘えてせっかくの機会を無駄にしてしまうとも考え、このプログラムへの参加を決めました。

2つ目は、大学生活を後悔したくないという気持ちです。やってみたいと思った事はその時にやらないとあっという間に4年間は終わってしまうと考え、1番融通の効く1年生の長期休暇を生かそうと思いました。

3つ目にフランスへの興味・関心です。フランスに関連した映画や食べ物、ファッション等が昔から大好きでしたが、実際にフランスの街並みも見た事が無ければ、現地の食べ物も味わった事も無い。更に、時々日本人はフランスに対するマイナスなイメージを持つ。これらの観点から、この憧れ・イメージは本当なのか、という疑問があり自分の目で見て、味わい、確かめようと思いました。

現地での活動は、障害者施設の庭に、障害者の方々が発表会をする為の舞台を建設するという内容でした。各自部門で役割分担を決め、英語での説明をしっかりと理解し、分からなければもう一度確認をしてミスが無いように取り組みました。障害者の方々が作業に興味を持って見に来ることもあり、皆でご飯を食べることもありました。宿泊は共同宿泊所を借りて、同じボランティアのメンバーと生活をしました。私が参加した時はヨーロッパ圏の人が殆どで、ボランティア活動をする為というよりvacationを有意義なものにする為という感じでした。自由時間やメンバーと出掛けた時が私にとって1番の思い出となりました。本当の英語での日常会話力が試されました。話している内容は分かって、自分の思っている事がちゃんと伝わらない為辛く感じてしまうこともありましたが、段々と慣れ、楽しく笑い合ったりする事ができるようになりました。食事は自分達で分担して作りました。どの料理もとても美味しく、メンバーの国々の代表的な料理を味わえました。地元の観光地もとても美しく、自分が憧れていたフランスそのものでした。現地でのスリや盗難といった被害はなく、現地の人に英語で尋ねると優しく答えてくれました。

今回の参加にあたって、自分の英語力で知らない土地でも行動する事が出来たという大きな自信になりました。現地の食文化、建築物、人柄等のリアルな部分を自分自身で知る事ができました。



ボランティアセンター主催プログラム・イベント

ボランティア入門講座

主に新生に向けて、大学生活における幅広いボランティア活動を知ってもらい、積極的な参加を促すことを目的に、2019年5月16日(木)、5月23日(木)の2回にわたり「ボランティア入門講座」を実施しました。

1回目は他大学のボランティア経験の豊富な学生から体験談を聞くことができました。

2回目は、日本財団学生ボランティアセンターの宮腰様によるグループワーク、及び、様々なボランティアの形についての紹介、日本財団学生ボランティアセンターで実施しているボランティア企画についての紹介がありました。

参加した学生からは、ボランティアは人のためにも自分のためにもなることを学んだ。ボランティアは社会性を身につけることの出来る場だと思った。という感想が聞かれました。

KUIS ボランティアセンター主催
～新生対象～
ボランティア入門講座
ボランティアについて知ろう

※各日とも同じ内容となります。
※定員30名

【日程】
① 5月16日(木) 12:15～13:00 (お昼休み)
② 5月23日(木) 12:15～13:00 (お昼休み)

【場所】 後日、参加者に連絡します

申込方法(先着順)
● 下記のQRコードよりお申し込みください。
※締切 4月19日(金)

講師: 宮腰義仁氏
日本財団学生ボランティアセンター

こんな方におすすめ!
・ボランティアに参加してみたい!
・どんなボランティア活動があるの?
・今よりもっと成長したい!
・自分の得意なことどうやって活かせる?

問合せ先: ボランティアセンター (6号館2階)
Email: volunteer-center@kanda.kuis.ac.jp



国連「世界難民の日」啓発ウィーク

6月20日は国連「世界難民の日」。本学では、2019年6月17日(月)～7月5日(金)にわたり、学生に難民問題への関心を高めてもらうため、本学ボランティアセンター主催、図書館、多言語コミュニケーションセンターMULC共催にて、「世界難民の日啓発ウィーク」を実施しました。

7号館2階クリスタルホール前においては難民写真パネル展示、及び紹介映像（UNHCR提供）上映、7号館1階図書館では難民問題に関連する書籍の展示を行いました。また、7月4日(木)にはクリスタルホールにおいて、UNHCR難民映画祭2018・学校パートナーズ「女を修理する男」のMULC映画鑑賞会を行いました。上記期間中は、会場に寄せ書きボードやペインティングボードも設置され、訪れた学生が思い思いにメッセージやアートを描き残してくれました。



本学では、新入生対象のオリエンテーションキャンプにてSDGsのカードゲームを実施したり、6月24日(月)からはSALC主催でSDGs Awareness Weekを実施するなど、日頃よりSDGsへの関心を深めてもらうために様々な取り組みを行っていますが、今回の「世界難民の日」啓発ウィークも、学生にとっては、難民支援という側面からSDGsについて学ぶ機会の1つとなりました。



JICAボランティアセミナー

ボランティアセンターは、国際協力や国際開発について考えるきっかけづくりとしてのJICAボランティアセミナーを実施しています。セミナーでは、協力隊事業の概要説明や現役学生及び神田外語大学卒業生の協力隊経験者による体験談も話してもらいます。

日 程	内 容
2019年7月3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・青年海外協力隊概要説明 ・2016年英米語学科卒業生 長谷川翔平氏（マダガスカル／青少年活動）

※昨年は長谷川氏の呼びかけのもと、JICA主催の「笑顔のためにプログラム」の一環として、サッカーボール5個、フットサルボール3個をアフリカ・マダガスカルへ寄付しました。



大覚寺プログラム

嵯峨天皇の離宮として建立されて1200年以上、絶えず歩みつづけてきた由緒あるお寺で、お寺の生活を体験しながら、朝のお勤めから始まり、生け花、写経、お抹茶体験や寺院の案内など様々な体験を通して日本文化を学ぶプログラムを2016年より開始しました。京都外国語大学講師による京都学講座や僧侶との意見交換で日本文化についてより理解を深めることができます。また、語学力を生かした実践の場として、大覚寺にいらした海外のお客様へ英語を中心とした多言語で、寺院のご案内をする通訳ボランティア体験ができる人気プログラムです。

日 程	2019年8月21日(水)～23日(金)
場 所	京都府 旧嵯峨御所 大本山大覚寺
参 加 者	12名
協 力	大覚寺の皆様、京都外国語大学 村山先生
プログラム	京都学講座（京都市内観光地でのフィールドワーク、京都外国語大学学生との交流）、僧侶との交流会、寺院案内ボランティア(英語・日本語)、生け花体験、お寺の生活体験



初期医療言語サービスボランティア研修

2019年9月15日(日)、16日(月)に神田外語大学、千葉県立保健医療大学にて「初期医療言語サービスボランティア研修」が行われ、両大学から計18名の学生が参加し、2日間に渡り、初期医療で必要な英語表現や知識全般を学び修了証が授与されました。

2019年～2020年に開催される様々な国際的なスポーツの祭典では、幕張新都心にも訪日外国人の増加が予想されます。加えて猛暑の中での開催となるため、緊急医療の初期対応や応急手当をサポートするための知識・技能を持つ専門性のある言語サービスボランティアが不可欠となるため、同じ幕張新都心に拠点を置く神田外語大学と千葉県立保健医療大学が両校のそれぞれの知見を生かし、今回の研修が実現しました。

2日間の研修はModule 1～4を1日目に神田外語大学で、5～8を2日目に千葉県立保健医療大学にて行いました。

Module 1) 対象者への声かけと状況把握 Offering Help and Support

声かけ・症状・病名・身体の部位(臓器・既往症)等の英語表現

Module 2) 体勢への配慮、救急・医療関係者への誘導 Positioning and Calling Medical Help

対象者の体勢と英語での誘導・安心させる英語表現など

Module 3) 各種症状への対応・応急手当 First Aids and Symptoms

各傷病者の管理・外傷・出血・けいれん・てんかん・熱中症

Module 4) 注意・配慮すべき文化・宗教・ジェンダー Cultural Issues to Consider

文化・宗教・ジェンダー

Module 5) AED 講習 AED Lecture

心肺停止・一次救命処置・心肺蘇生法・AED使用方法

Module 6) AED実習 AED Training

AED 使用練習・心肺蘇生法の手技

Module 7) ボランティアの自己管理・事前準備、災害時対応 Self Care and Preparation

体調管理・準備するもの・事前準備・確認事項

Module 8) まとめ・自己学習へ向けて Review

まとめ・自己学習へ向けて・修了証交付

講座の内容にはところどころ実習も含まれ、参加した学生は熱心に知識や技能の習得に取り組んでいました。



Enjoy Learning About the Olympics & Paralympics !

2019年10月26日(土)、27日(日)、神田外語大学の学園祭「浜風祭」にて、本学豊田ゼミの有志メンバーとボランティアセンターが協働し、「Enjoy Learning About the Olympics & Paralympics!」というブースを8号館103、104教室に出展しました。

パラスポーツ体験や写真展を通じ、来場者の2020年東京オリンピック・パラリンピックに対する関心度を向上させることを目的に、8-103教室にはポッチャ体験や、競技用車椅子の試乗ができる「競技ブース」、8-104教室にはクイズや展示を通じてオリンピックやパラリンピックの知識を深めたり、共生社会について考えるきっかけとなる体験ができる「知っ得ブース」を設けたほか、教室の前には、7月末に教職員や学生対象に実施したオリンピック・パラリンピックの関心度調査の集計結果を展示し、2日間で256名の方に来場いただきました。

実施にあたっては、千葉県庁、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、株式会社オーエックスエンジニアリング、千葉ポートアリーナ、一般社団法人HAND STAMP ART PROJECTなど、様々な団体の協力もいただきました。

参加者からは、

2020年を迎える前に実際に競技用車いす等に触れ、来年更に楽しめそうです。

2020年楽しみになりました。ありがとうございました。

バスケットの車いすが曲がりやすくて驚きました。

ポッチャ体験が楽しかった。またやりたいです！

といった声が聞かれました。

また、企画段階から準備～当日の運営まで携わったゼミ生からは、

ポッチャ体験や車いす試乗の場を設けたことにより、展示だけよりも通りすがりの来場者に興味をもってもらうことができた。

1964年の大会写真や年表に興味をもつ年配の方も多かった。

車いすや義足など実物を見る機会は少ないため、貴重な機会を提供できた。

景品を渡すことでより思い出を形として残すことができた。

「パラリンピックの競技名を知っていてもルールは知らない」というパラリンピック競技に対する関心が高くないことを実感したと同時に、今回の出展を通して少しでも興味をもち、知ってもらうきっかけや機会を提供することができてよかった。

という感想が聞かれました。



DeeDee Trotter氏講演会

2019年10月31日(木)神田外語大学にて、アメリカ陸上界のスーパースターDeeDee Trotter氏講演会を開催しました。当日は在学生、一般、近隣の高校生、行政関係者などあわせて300名近くの方にご来場いただきました。Trotter氏による本学での講演会は2018年5月に続き、今回2回目の開催となりました。

Trotter氏は400mトラック選手として、2004年アテネオリンピック、2012年ロンドンオリンピックで金メダルに輝き、現在は、イー・エフ・エデュケーション・ファースト（日本法人イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社／本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：サンチョリ・リー）のオリンピック・アンバサダーを務めています。

講演会は全て英語で行われ、本学英米語学科教授の矢頭先生と英米語学科4年の柴田三揮さん（当時）が司会を務めました。冒頭には、本学「和太鼓サークル神楽」がTrotter氏への歓迎の気持ちを込めて、和太鼓の演奏をしました。

Trotter氏は2度のオリンピックで金メダルを獲得しましたが、その間に膝を故障し、オリンピックへの復帰が危ぶまれながらも、強い意志と信念のもとに返り咲いたエピソードをお話しいただきました。彼女のモットーである“*I Can. I Must. I Will.*”という言葉に込められた、困難へ立ち向かう姿勢や経験、またチャレンジを続けることへの強い想いを伝えてくださいました。

講演会後は多くの来場者との会話や記念撮影に優しく応じてくださり、本学の学生たちにとっても素晴らしい思い出となりました。



ボランティアトライアル2019

2019年12月14日(土)、本学2号館、KUIS8、アジアン食堂「食神」を会場に、千葉県主催、生涯学習応援団ちば主管の「ボランティアトライアル2019 ～NIPPON 体感～ 和×話×輪 WAWAWA「和」にふれて「話」弾んで「輪」になって」が実施され、千葉県内の高校生、大学生、留学生など約130名が参加しました。

本学豊田ゼミの有志学生は敬愛大学の有志学生や学生団体おりがみの有志学生と協働し、企画段階からミーティングに参加し、イベント当日は12名のゼミ学生が運営スタッフとして参加しました。

当日は、司会進行や会場間の誘導を担当したほか、昼食前のグループワーク、昼食後の日本文化体験のうち、年賀状作り、福笑い、国旗かるたなどの企画及び運営も行いました。

参加した高校生からは、

「話し方（話の返し方）やスタッフ（グループリーダー）としての進行、行動がスムーズでカッコ良かった。今回関わらせてもらった大学生のようになりたいと強く思った。」

という感想を聞くことができました。



ボランティア参加証授与式&報告会

2016年度より、ボランティアに参加した学生を対象にボランティア参加証授与式を挙げています。毎年100名近くの在学生在が一堂に会し、ボランティアセンターより、感謝と激励の気持ちを込めてひとりひとりの学生に参加証を授与します。「スポーツ通訳・国際大会」「地域貢献・国際交流」「国際協力・国際開発」の各分野から代表学生が登壇し、ボランティアを通しての自己成長や人々との繋がり大切さなど、それぞれの経験談を交えながら、ボランティアへの熱い想いを語ってくれました。

日 程	場 所	参加人数
2020年1月15日(水)	クリスタルホール	約80名



▲参加証授与の様子



▲集合写真

2019年度ボランティア実績一覧

A：スポーツ通訳・国際大会【15件／67名】 B：地域貢献・国際交流【49件／407名】

C：国際協力・国際開発【15件／45名】

No	ボランティア名	カテゴリー	日程	人数	内容
1	エアロビック協会Suzuki World Cup 通訳ボランティア	A	4月13日(土)・14日(日)	3	ウォームアップから競技までの選手が、タイムスケジュールに沿って動いているかを管理監督
2	柏市内小学校でのラグビークリニック 通訳ボランティア (All Blacks)	A	5月16日(木)～27日(月)	3	ニュージーランドラグビー協会所属のコーチによる、柏市内小学校での体育授業の通訳
3	世界水泳2019オランダ選手団 事前キャンプ通訳ボランティア (KNT)	A	7月1日(月)～6日(土)	2	千葉市国際総合水泳場にて、オランダチームの通訳
4	2019 World Taekwondo Grand-Prix 通訳・運営ボランティア	A	9月13日(金)～15日(日)	8	大会における通訳、大会運営及び試合道具管理等
5	Rugby World Cup 2019 Master Card VIP サポートスタッフ (吉香)	A	9月14日(土) ～11月4日(月)	4	国外から試合観戦に訪れるマスターカードVIP層へのアテンドサポート
6	RugbyWC2019フラッシュ・クオート・レポーター 通訳ボランティア (Gracernote)	A	9月20日(金) ～11月2日(土)	2	フラッシュ・クオート・レポーター (FQR)：試合会場にて試合終了後や記者会見場で、各チーム担当記者や会場責任者が選んだ選手や監督からの発言を集め、迅速かつ正確に文字起こしをする
7	ラグビーワールドカップ 2019ボランティア全国外大連合特別枠	A	9月20日(金) ～11月2日(土)	7	シャトルバス乗降場やスタジアム内観客サポート、ファンゾーンでの案内、駅での案内
8	ラグビーワールドカップ 2019日本大会ボランティア [TEAM NO-SIDE]	A	9月20日(金) ～11月2日(土)	7	スタジアム及び周辺の観客サポート、ファンゾーンでの案内、海外VIP対応、駅での案内
9	ZOZO CHAMPIONSHIP (ゴルフPGA TOUR トーナメント) 通訳ボランティア	A	10月21日(月)～27日(日)	5	インフォメーションブースにてギャラリーからの問い合わせ対応
10	FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Masters 2019通訳・運営ボランティア	A	11月1日(金)～3日(日)	9	国際バスケットボール連盟 (FIBA) 公式大会の参加チームへの帯同
11	第12回全世界空手道選手権大会 通訳ボランティア	A	11月9日(土)・10日(日)	3	海外選手、来場者と日本人スタッフの会話の通訳
12	World Super6 (女子シットینگバレーボール 国際大会) 通訳・運営ボランティア	A	11月10日(日)～17日(日)	6	海外及び日本チームの帯同ボランティア及び大会運営ボランティア (試合会場担当/アップ会場担当/会場案内担当)
13	JFAナショナルゴールキーパーキャンプ 及び指導者養成コース通訳ボランティア	A	12月4日(水)～12日(木)	1	外国人指導者のトレーニング時、指導者講習会、及びJFA公認指導者研修会の通訳
14	ゴルフ日本シリーズJTカップ 通訳ボランティア	A	12月7日(土)・8日(日)	1	朝の選手の受付サポート、海外選手へのインフォメーション作成 (英語)、メディアへの通訳対応
15	高円宮杯フェンシングワールドカップ兼 2020オリンピックテストイベント	A	12月13日(金)～15日(日)	6	高円宮杯フェンシングワールドカップ兼2020オリンピックテストイベントにて、参加選手への会場案内、集合への説明、用具検査時の通訳等
1	千葉市小中学校ボランティア	B	4月1日(月) ～2020年3月19日(木)	4	外国語活動や英語の時間に児童生徒と一緒に活動。その他希望があれば、別の活動もあり
2	こどもラグビーワールドフェスティバル 2019通訳ボランティア	B	4月20日(土)・21日(日)	2	外国の子どもたち (U-12) やコーチと日本人のスタッフやお世話係とのコミュニケーションが円滑に進むように通訳
3	第24回海外高校生による日本語スピーチコン テスト企画運営ボランティア	B	4月27日(土) ～8月24日(土)	5	第24回海外高校生による日本語スピーチコンテスト国際大会の運営、異文化理解及び交流プログラムの企画・運営
4	スパルタンレース 通訳・運営ボランティア	B	5月18日(土)	10	スパルタンレースにおける会場での受付業務、給水ポイント等の対応、清掃等
5	幕張チャリ運営ボランティア	B	5月19日(日)	60	第15回幕張チャリティ・フリーマーケットの企画・運営
6	幕張新都心クリーンの日清掃活動 (春)	B	5月22日(水)	1	幕張新都心進出企業の方々、幕張新都心及びその周辺の清掃
7	流山おおたかの森高校 外国人生徒サポートボランティア (前期)	B	6月17日(月) ～7月10日(水)	2	流山おおたかの森高校のフィリピン人生徒への学習サポート
8	2019年度千葉日本大学第一中学校 英語学習サポーター (前期)	B	6月～8月	1	中学1,2年生の希望者を対象に英語の学習支援や、中高生の希望者を対象にネイティブとの英語話の体験をサポート
9	八千代市子ども支援ボランティア	B	6月 ～2020年3月31日(火)	2	小4～高校生までの子どもたちの学習支援及び居場所支援
10	千葉市立打瀬小学校留学生 文化交流ボランティア	B	6月26日(水)	7	千葉市立打瀬小学校5学年との交流会に、本留学学生 (各国1名づつ：スウェーデン、スペイン、ブラジル、ベトナム、リトアニア、台湾、中国) が参加

2019年度ボランティア実績一覧

No	ボランティア名	カテゴリー	日程	人数	内容
11	千葉県ユニセフ協会 設立15周年記念ユニセフのつどい2019運営補助ボランティア	B	7月7日(日)	7	会場設営準備・入れ替え・片づけ・イベント参加者の誘導
12	ブラジルフェスティバル運営補助ボランティア	B	7月20日(土)・21日(日)	41	ブラジルフェスティバルでの誘導、受付などの運営補助
13	日中ビジネスマッチングイベント通訳ボランティア	B	7月21日(日)・22日(月)	4	中国から訪日した企業の中国語の通訳
14	IIBC 東京国際合唱コンクール2019通訳・運営ボランティア	B	7月24日(水)～28日(日)	4	海外から出場する合唱団の主催者側とコミュニケーションサポート、会場内のご案内、または受付、物販、舞台裏でのサポート
15	JR東日本通訳ボランティア／テンポラリースタッフ (東京駅)	B	8月～	4	駅構内で訪日外国人のお客さまのご案内
16	JR東日本通訳ボランティア／テンポラリースタッフ (成田空港駅)	B	8月～	3	駅構内で訪日外国人のお客さまのご案内
17	幕張ビーチ花火フェスタ2019「事前ビーチクリーン」ボランティア	B	8月1日(木)	11	千葉市民花火大会の観覧者へ快適な環境づくりと花火打ち上げ場所の整備
18	第24回幕張本郷ふれあい祭り運営補助ボランティア	B	8月6日(火)	4	夏祭りのテント屋台(おもちゃコーナー、食事コーナー、飲み物コーナー等)での設営・運営補助
19	京都大覚寺日本文化体験&通訳ボランティア	B	8月21日(水)～23日(金)	12	京都大覚寺にてお寺の生活を体験しながら、朝のお勤めから始まり、生け花や寺院の案内など様々な体験を通して日本文化を学ぶプログラム
20	ホストタウンボランティア：オリンピック委員会各国団長と自治体との交流会	B	8月22日(木)	3	オリンピック委員会各国団長と自治体との交流会に際し、各国団長の案内、受付、自治体との会話の通訳補助
21	「えいごであそぼ」英語講師ボランティア	B	8月22日(木)～24日(土)	5	小学校2～4年生の児童がより英語に親しみ、身近に感じられるようゲームの要素を取り入れた活動や身体を使った英語活動
22	ホストタウンボランティア：よさこいイベントでの各国参加者アテンド通訳ボランティア	B	8月24日(土)	1	代々木公園のよさこいイベント会場にて、ブース視察及びステージイベントへの出演にあたり各国参加者のアテンド通訳
23	第7回アフリカ開発会議(TICAD7)運営補助ボランティア	B	8月24日(土)～30日(金)	10	TICAD7会議運営の補助的業務(単純事務作業含む)、サイドイベントの支援業務
24	ホストタウンボランティア：チュニジア人音楽家の小学校訪問における通訳ボランティア	B	8月30日(金)～9月2日(月)	2	チュニジアの音楽家が江戸川区等での交流事業を実施するにあたり、学校訪問や江戸川区のオーケストラとのコラボなどに行き通訳
25	千葉市海浜アクアスロン大会運営補助ボランティア	B	9月7日(土)～8日(日)	10	会場設営準備、大会コースの選手誘導、来園者誘導、給水所で水分渡しなど
26	レッドブル・エアレース千葉2019運営補助ボランティア	B	9月7日(土)～8日(日)	10	幕張地区で開催されるレッドブル・エアレースでの「千葉ビレッジ」の運営と「エコステーション」管理
27	幕張南小学校ニュージーランド交流会通訳ボランティア	B	9月18日(水)	5	幕張南小学校にて小学生とニュージーランドから来た留学生の交流会を行う際の通訳
28	フィエスタメヒカーナ2019運営補助ボランティア	B	9月21日(土)～23日(月)	54	メキシコの独立記念日(9月16日)を祝してお台場で毎年開催されるイベントで出されたごみの収集・分別や、来場者へのプログラム配布、来場者の誘導など
29	グローバルフェスタJAPAN2019運営補助ボランティア	B	9月27日(金)～29日(日)	17	グローバルフェスタJAPAN2019イベントにおけるインフォメーション業務、事務局ブースの運営サポート、場内清掃、前日会場装飾のサポート等
30	第89回FICCオートキャンプ世界大会通訳・運営ボランティア	B	9月27日(金)～10月6日(日)	9	世界から集まったキャンパーの通訳やエクスカーション時の通訳
31	2019年度千葉日本大学第一中学校英語学習サポーター(後期)	B	10月～2020年2月21日(金)	5	中学1,2年生の希望者を対象に英語の学習支援や、中高生の希望者を対象にネイティブとの英会話の体験をサポート
32	流山おおたかの森高校外国人生徒サポートボランティア(後期)	B	10月～	2	流山おおたかの森高校のフィリピン生徒への学習サポート
33	JR東日本：ラグビーワールドカップ2019熊谷駅通訳ボランティア	B	10月9日(水)	2	ラグビーワールドカップ観戦に訪れた外国客に対し、熊谷駅コンコース内でお客さまのご案内
34	即位礼正殿の儀 接遇支援業務	B	10月17日(木)～25日(金)	7	空港やホテルでの訪日客の誘導案内や都内近郊の交通機関ほか地理案内
35	幕張ベイタウンハロウィンパーティー2019運営補助ボランティア	B	10月20日(日)	9	ハロウィンパレードの引率・先導・警備、パレードお菓子配布スポット店でのお菓子配布対応、ハロウィンパーティー物販応援
36	「英語で楽しむ親子おはなし会」読み聞かせボランティア	B	10月26日(土)・11月16日(土)	4	美浜図書館(本館、分館)で幼児～小学生とその保護者を対象に英語絵本の読み聞かせおよび英語アクティビティの実施
37	JR東日本通訳ボランティア／テンポラリースタッフ(成田空港第2ビル駅)	B	11月～	4	駅構内で訪日外国人のお客さまのご案内
38	JR東日本「学びの場」2019年度後期	B	11月11日(月)・12日(火)11月27日(水)・28日(木)	5	東京駅コンコース内でお客さまのご案内

2019年度ボランティア実績一覧

No	ボランティア名	カテゴリー	日程	人数	内容
39	幕張南小学校「学びフェスタ」 講師ボランティア	B	11月16日(土)	11	幕張南小学校にて開催される「学びフェスタ (地域一般のボランティアの方々や大学生が 講座を開き小学生がその中から好みの2講座 を選んで受講するというイベント)」におい て、子どもたちが世界の言葉と文化に興味を 持ってもらえるような講義/ワークショップ を担当
40	第1回千葉県山武市九十九里浜 植樹ボランティア	B	11月16日(土)	4	千葉県九十九里地区における海岸県有保安林 において、病虫害および台風や津波などの災 害にも強い海岸防災林の再生を目指し植樹を 行う
41	TOKYOベイエリアナイトランin豊洲 運営補助ボランティア	B	11月29日(金)	2	スポーツニッポン新聞社主催のTOKYOベ イエリアナイトランの受付、荷物預かり、給水 係、走路案内などの運営補助
42	大覚寺活け花体験会サポートボランティア	B	12月3日(火)	2	留学生向け「大覚寺活け花体験会」におい て留学生の活け花体験をサポート
43	MAKUHARI BAY-PARKクリスマスイベント ボランティア	B	12月22日(日)	9	MAKUHARI BAY-PARKで行われるクリスマ スイベントの運営補助、会場設営補助、撤収 補助、店舗運営補助
44	JR東日本通訳ボランティア/ テンポラリースタッフ(成田空港駅)	B	2020年1月~	7	駅構内で訪日外国人のお客さまのご案内
45	こども歌舞伎公演チラシ翻訳ボランティア	B	2020年1月29日(水)	2	千葉県こども歌舞伎アカデミーこども歌舞伎 公演における公演プログラム(演目紹介)の 英語への翻訳
46	成田国際空港翻訳ボランティア	B	2020年2月7日(金)	2	「成田国際空港口ピーワークショップ(もん きりワークショップ)」、紹介チラシの英語訳 及び講師説明時の英語通訳
47	JR東日本通訳ボランティア/ テンポラリースタッフ(海浜幕張駅)	B	2020年2月~	1	駅構内で訪日外国人のお客さまのご案内
48	中央区観光協会 外国語観光通訳ボランティア	B	年間	9	東京都中央区を観光等で訪れる外国人への言 語対応
49	NPO法人さざんかの会夢のふなっこ 学習サポートボランティア	B	前期・後期	10	学校に通いたいけど通えない子供たちの学習 支援
1	CIEE: オセアニア幼稚園ボランティア	C	7~9月	3	オーストラリア・ニュージーランドの一般家 庭でホームステイをしながら、幼稚園・保育 園でボランティア活動
2	CIEE: オセアニア環境保護ボランティア	C	8~9月	6	オーストラリア・ニュージーランドで植林や 遊歩道整備などの環境保護活動
3	CIEE: 国際ボランティアプロジェクト	C	8~9月	13	ヨーロッパ、北中米、アジアの約30か国で 建物の修復、社会福祉、環境保護など、活動 の分野も多岐にわたるボランティア活動
4	CIEE: インドネシアボランティア	C	8~9月	2	インドネシア人の家庭にホームステイをしな がら、地元の高校/大学、幼稚園/小学校で 日本語や日本文化の授業を補助するボラン ティア活動
5	CIEE: ベトナムボランティア	C	8~9月	1	ベトナムの孤児院や養護施設で子どもの世話 を行うボランティア活動
6	CIEE: アメリカボランティア	C	8~9月	2	カリフォルニア州サンフランシスコ中心部の レジデンスに滞在しながら、NPO活動支援 やチャイルドケア、シニア福祉などの活動
7	CIEE: カナダボランティア	C	8~9月	4	トロント・バンクーバー・ビクトリア・カル ガリーの4都市の中から希望の地域を選択 し、現地の家庭に滞在しながら、地域サポ ート、環境保護、動物保護のいずれかの分野で 活動
8	CIEE: 台湾ボランティア	C	11月	1	台湾でワークキャンプをしながらボランティ ア活動
9	CIEE: 国際ボランティアプロジェクト (アイスランド)	C	2020年1月~3月	1	ヨーロッパ、北中米、アジアの約30か国で 建物の修復、社会福祉、環境保護など、活動 の分野も多岐にわたるボランティア活動
10	CIEE: ベトナムボランティア	C	2020年1月~3月	1	ベトナムの孤児院や養護施設で子どもの世話 を行うボランティア活動
11	CIEE: オセアニアチャイルドケアボランティ ア	C	2020年1月~3月	3	オセアニアの幼稚園でティーチャーアシスタ ント
12	CIEE: オセアニア環境保護ボランティア	C	2020年1月~3月	1	オーストラリア、ニュージーランドで植林や 遊歩道整備などの環境保護活動
13	CIEE: アメリカボランティア	C	2020年1月~3月	3	カリフォルニア州サンフランシスコ中心部の レジデンスに滞在しながら、NPO活動支援 やチャイルドケア、シニア福祉などの活動
14	CIEE: カナダボランティア(地域サポート)	C	2020年1月~3月	1	トロント・バンクーバー・ビクトリア・カル ガリーの4都市の中から希望の地域を選択 し、現地の家庭に滞在しながら、地域サポ ート、環境保護、動物保護のいずれかの分野で 活動
15	CIEEカンボジアボランティア	C	2020年3月	3	教育/芸術にかかわる活動、教育/建設にかか わる活動 など

学内ボランティア団体の紹介



Hello Time

千葉県内の保育園や子ども園で、英語で遊ぶの時間を担当したり、小学校での英語の時間をサポートしてきました。また更に子どもたちに英語に興味をもってもらえるように自主的にイベントの開催もしています。



Habitat for Humanity KUIS

夏と春の年2回、海外住居建築活動を途上国で行い、毎月末には啓蒙活動も兼ね、現地での建築資材購入のための募金活動や、週に1回主に国際問題についての勉強会を行っています。



DAWN×KUIS

フィリピン人女性とその子供たちを支援する学生団体です。支援するフィリピン人女性たち手作りのブックカバーなどの小物や、シャツなどの衣服をフェアトレード商品として販売しています。



神田外語大学CUP

大学キャンパス内で地域の方々から寄付品を募り、フリーマーケットを中心としたチャリティイベントを実施しています。



くいすにほんごくらぶ

日本に住む外国の方に日本語を教える活動をしています。現在はブラジル、ベトナムの学習者が多く参加しています。また、日本語を教えるだけでなく日本の文化を伝えるアクティビティも行っています。



幕張新都心賑わいづくり研究会学生部

幕張の地域の方や団体と積極的に交流し、サマーソニックの前夜祭企画を始めとして、数々のイベントを企画・運営し地域活性化につながる活動を行っています。



MAKE SMILE

「被災地で笑顔を送信」をテーマに、災害復興支援ボランティア団体として、主に東日本大震災で被災された宮城県亘理町の児童館でのボランティア活動や、九州への震災・豪雨災害義援金募金活動などを行っています。



ラテンアメリカ研究会

日本の絵本をスペイン語に翻訳し、その本を寄贈する活動を行っています。JICAの方々に協力して頂き、ペルー、ボリビア、パラグアイの3カ国にある日系人学校に寄贈しています。

Volunteer Union

Volunteer Unionは、神田外語大学学友会のUnion制度（注1）として、2018年度より学内の5つのボランティア団体で結成されました。

2019年度は「第15回幕チャリ」でのブース出展を行ったほか、高校生向けのボランティアサークル紹介冊子を制作したり、浜風祭にてプラスチック削減の呼びかけを行ったりしました。

注1) Volunteer Unionの他、Athlete Union(体育系の団体)、Culture Union(文化系の団体)がある。

Volunteer Union 構成団体

Habitat for Humanity KUIS

Hello Time

MAKE SMILE

DAWN KUIS

ラテンアメリカ研究会

次年度に向けての意気込み



HelloTime所属
英米語学科 2年(当時)
代表 **加納 真衣**

こんにちは、Volunteer Union 代表の加納です。

私達は、MAKE SMILE・Habitat for Humanity・ラテンアメリカ研究会・HelloTimeの4団体から構成されておりVolunteer Unionは所属団体の活性化を目的として活動しています。

去年は、SDGs(持続可能な開発目標)の活動として幕張チャリティ・フリーマーケットに参加、浜風祭にてプラスチックゴミの削減啓発活動、KUIS TVにてVolunteer Unionの活動内容の紹介をさせて頂きました。現在は、活動紹介パンフレットを通して各々の所属団体の魅力を知って頂けるよう作成しています。また、今年は浜風祭委員会にご協力して頂き、プラスチックゴミ削減活動を継続して参ります。

今年はコロナウイルスの影響で中々思い通りの活動をする事が困難ではありますが、私達に出来る事を少しずつ積み重ねていこうと思います。これからも、ボランティアを皆さんにもっと気軽に感じて参加して頂けるように精進して参ります。

どうぞ宜しくお願い致します。

ボランティア情報の発信

ボランティア登録

2014年度にボランティア登録制度を導入し、2019年度は566名の学生が登録をしました。ボランティア活動をより多くの学生に経験してもらうため、ボランティアに興味関心のある学生情報のデータベース化を図り、より効果的にボランティアの募集を行いました。登録者には、ボランティア活動を促進する目的として、学内外で実施するセミナー、イベント、講座等の情報を定期的に「ボラセンINFO」としてメールマガジンで配信しています。

ボランティアセンターホームページ / スポーツ通訳ボランティア推進室ホームページ

ボランティアセンターホームページおよびスポーツ通訳ボランティア推進室のホームページにて、ボランティア活動報告や取り組み、開催イベント等の最新情報を更新しています。

ボランティアセンター公式Twitter

2019年7月よりボランティアセンターの公式Twitterアカウントを開設し、SNSならではの情報発信も行っています。

URL

ボランティアセンターホームページ <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/vc/>

スポーツ通訳ボランティア推進室ホームページ <http://sports-volunteer.tokyo/>

ボランティアセンター公式Twitter https://twitter.com/kuis_vc2019



▲ボランティアセンターホームページ



▲スポーツ通訳ボランティア推進室ホームページ



▲ボランティアセンター公式Twitter

神田外語大学ボランティアセンター報告書

発行 2020年8月

発行者 神田外語大学ボランティアセンター

千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1 6号館2階

TEL : 043-273-1337

Email : volunteer-center@kanda.kuis.ac.jp

ホームページ : <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/vc>

印刷 勝美印刷(株)



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C006270



この印刷製品
は、環境に配慮
した資材と工場
で製造されて
います。